

国道10号現地調査 (大分県臼杵市野津町)

令和元年度にLPを用いて抽出された箇所(国道10号175k100付近:臼杵市野津町泊地先)であり、令和2年度の安定度調査で国道に近接する起点側の露岩部に不安定化が進行した浮石や転石を確認した。今後浮石等の不安定化が進行し、落石が発生する可能性があるため、対応策の検討のため、学識者による現地調査を実施した。

出席者:福岡大学 佐藤教授

● テックドクターによる調査(令和3年1月12日)



不安定な浮石



現地調査状況



会議状況

【現地状況について】

- ・斜面裾部に民家が位置していることから、「山地災害危険地区」に指定され、ロープ掛け工や落石防護柵工等による対策が行われている(予防治山事業)。
- ・ただし民家がない起点側斜面部は道路沿いにフェンスがあるのみで、落石対策は行われていない。
- ・ポケットがあるものの、浮石が落下したら国道に影響が及ぶと考えられるため、対策が必要である。

【対策方法について】

- ・2段の不安定な岩盤急崖があるため、発生源対策を行うか、待受け対策が必要と考えられる。
- ・対策実施の際は、山地災害危険地区の対策(県、林務)との調整・確認を行う必要がある。